

プロジェクト写真



施設概要

構造・階数：木造・3階建（基礎構造は独立基礎を採用し、上部構造はCLTパネル工法による矩形ラーメン構造を採用）

建築面積：285.96 m²/延べ面積：806.48 m²

最高の高さ：11.60 m/最高の軒の高さ 10.21 m

所在地：仙台市青葉区栗生五丁目4番1、4番2、4番3

竣工：2018年8月21日

材質：宮城県産杉材

CLT：壁：9層9プライ（S60A-9-9）

床：5層7プライ（Mx60A-5-7）

総数量：393.76m³

製品概要



製作メンバー

設計者：意匠・設備/株式会社 創建設計
構造/株式会社 K構造設計事務所

施工者：建築/共立建設株式会社 東北支店
設備/株式会社 サンテック 東北支社

部材供給：CLTパネル製作/西北プライウッド株式会社、銘建工業株式会社
CLTプレカット/株式会社オノツカ、銘建工業株式会社

協議会 取り組み

本物件は、平成29年度「県産材・木のビルプロジェクト推進事業」として事業採択を頂いた物件です。

発注者である(株)コスモスウェブ様と協議を重ね、会社の理念とマッチングするような「新しい木材（CLT）」を使用して、PR効果を高めようということで事業を進めてまいりました。

また、宮城県内でCLTを使用した建物事例が少なかったため、企画段階よりコストや物流ルート等を各メーカー様にご協力頂きながら事業を進めました。

設計趣旨

仙台市内に木造3階建て建築基準法にて防耐火の制限の建物に木（CLT）を使用して設計するにあたり、内装制限や隣地境界線等からの延焼ラインからの防耐火仕様について、指定審査機関と協議しながら設計を進めました。

CLT関連告示が施行されて間もない時期での設計期間だった為、告示の凡例を全て作図するなどして確認申請手続きを進めました。

設備・電気についても、CLTの貫通位置について構造設計者と協議を重ね配管ルートを決し、消防設備等の緩和についても務めてコスト縮減しました。

構造についてはCLT告示が公布・施行された中で審査機関との協議及びCLT告示解説書の理解をするのに、大変な時間と労力を費やしました。構造設計をする中で、特に梁貫通における設備ルートの確認と梁貫通に伴う構造的な梁・柱の安全性を確保することに十分注意を払いました。また、CLT構造という事で意匠設計者と密に打合せを行い、建物形状をシンプルに考えるために構造躯体とするものしないものをすみ分けし、詳細な納まりを考えながら設計を行いました。今後の課題として、構造設計者の立場からCLT材を接合する金物などの開発などに参画できればと考えております。

設計者・施工者



(意匠・設備)

所属：株式会社創建設計

名前：新妻 重貴



(構造)

所属：株式会社K構造設計事務所

名前：狩屋 幸治



(施工)

所属：共立建設株式会社 東北支店

名前：川上 哲

アクセス

住所：

〒989-3122

仙台市青葉区栗生五丁目4番1、4番2、4番3

